

研推だより

No.9

R2. 8. 7 研究推進委員会

7月31日、5年分科会・市川学級の授業の振り返り

◎授業を参観された方による気付きです。それぞれでお読みいただき、ぜひ日々の授業づくりに生かしてください。

☆授業を見る視点「評価基準とその手立てが有効だったか。」

○手立て① 9つの環境問題に整理し現状と原因について分類・整理しながらまとめる。

- ・9つの環境問題に整理したことで、全員が同じ意識をもちながら話し合うことができた。
- ・今回は原因にしばって考えた方が「人間のせい」「どれもつながっている」ことに気付きやすいのではないか。

○手立て② 環境問題について改めて整理することで「どの環境問題の原因も人間の生活にある」という視点に気付けるようにする。

- ・展開後半、先生ともう一度整理していったことで、B評価である「人のせい」、A評価である「つながっている」ということがある程度書けていた。
- ・子供たちの意見をたくさん発表させ、その意見がすべての人、自分たちにつながることを発見させてもよかった。（先生が発表をしばっていたから。）第1時をくわしくして問題と問題をつなげるのを子供たちにさせるとか…。
- ・自分で考える時間、共有する時間があったことで、書けていなかった子も書くイメージもつことができたと思うので、もう一度書く時間をとってもよかったのではないかな。
- ・なるべく子供の言葉でまとめていく授業展開にすると、意欲もあがり、さらにたくさんの気付きがあると思う。
- ・「環境問題を意識させる」という視点では、流れが整理されていてよかった。

○手立て③ 「ウェビングマップ」を使って環境問題にまとめることで現状と原因やそれぞれの環境問題につながりがあることを明確に理解させる

- ・「くらげチャート」の方が整理・集約するにはいいかもしれない。
- ・各自が書いたウェビングマップをみえるもんなどで見せながらつなげた訳などを話し合わせるとよかった。
- ・全体で一つのウェビングマップをつくることによって、つながりが見えやすかったし共有できた。
- ・第1時のウェビングマップと今回のウェビングマップが似ていると感じた。第1時のウェビングを生かして授業を進めてもよかった。
- ・友達との交流から気付きや意欲が生まれるから、もう少し、本来であれば交流させた方がよかった。